

新時代のボランティアを考える



平岡地区町内会連合会
会長

新春を迎え皆々様のご多幸をお祈り申し上げますと共に、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

福祉の構想

さてこれから、わが国では長寿社会のシステムをどのように形づくつていけばよいのでしょうか。行政、企業、団体、個人がそれぞれの能力を發揮して、これらを効率的に組み合わせていくネットワーク社会の形成が求められています。このように言えば一言で終わってしまうのですが、実はこのことを具体化すること

地域の福祉活動

福祉はそれを受ける人に
とって、もつとも良い方法
と手段によって総合的に提

の転換が、最も具体的に現れるのは地域社会です。そして、それを理解し実際に参加しない限り、目前に迫る超高齢化社会の福祉を支えることは困難でしょう。

は現状のわが国のように強固に形成された縦割り社会においては、なかなか難しい問題だと思います。しかし、このことに挑戦していく

供されなければなりません。これに対して、福祉を提供する側は、行政にせよ、企業にせよ特定の部分しか提供できません。これをコーディネートしていくのは、

平岡地区町内会連合会
清田区平岡7条3丁目9-25
平岡地区会館内
☎ 883-7100
発行責任者 大橋 良一
編集責任者 渡辺綱太郎

一二十世紀後半の二十年は人類の精神史の中でも特筆すべき時代になるだろう」と、高校国語教科書に頻出する評論家山崎正田は書く。

授の紹介で知つた、金芝河（キムジハ）の詩を思い出していた。「メシは天であります ああ、メシは皆で分かち食らうもの」わずか一cmのケーラに、三十年前の大学の授業や「分かち食らう」ことの大切さを、生徒達から再認識される感動があつた。

な生徒達との日々にも、思
いがけなく素晴らしい出来
事に出会うことがある。

体育大会にかける意気込みと団結力で、みごと総合優勝を果たした。すかさず生徒達から胴上げをされ、空を舞う心地よさを初体験した。また今年担任の三年五組は、学校祭に総合優勝しきその上國らずも私の誕生日を祝ってくれた。

心尽くしのケーキが二つ
用意されていて。これを四
十個に分けるのは至難の業

取りあげ、畔原さんらが早く分けた。紙皿のケーキは一cm幅であつたが、私は忘れられない味となる。

大学生の時 フリカ問題を専門とする教



用いがけず1位！華やぐ教室

「私」から「私たち」の時代へ

高校教諭 田巻圭子

して楽しくアメリカ文化を教わったチエリー先生。私の出勤後、毎朝登校時まで家において下さった小澤君のお母さん。皆様への感謝の心で息子は成長できた。

あけまして おめでとうございます



清田区長 中野 淑文

平岡地区のみなさん、あけましておめでとうござります。新春を迎えるにあたり、一言ごあいさつ申しあげます。

日頃から、平岡地区のみなさんは、清田区の街づくりにつきまして、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

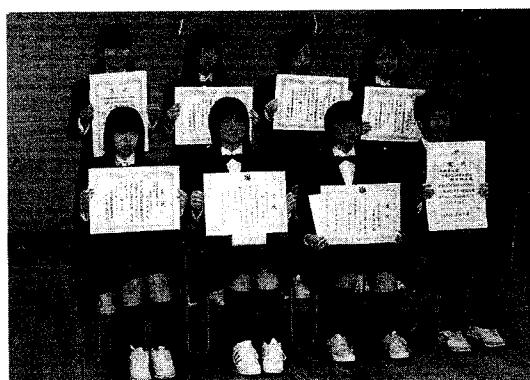
現在清田区役所では、「清田区ふれあいプラン」を策定し、「住んでしあわせを感じる清田区のまちづくり」を目標に、日々まちづくりの取組を進めています。

その一環として、各地区

この感謝の気持を、地域の高校で地域の生徒に返していきたい。
若人達から「分かち食らう大切さ」を学んだ貴重な一年であった。

催し、いざれもたくさんのご参加をいたぐなど、平岡地区の皆様とともに順調に取組を進めることができ、非常に感謝しています。

「住んでしあわせと感じる平岡」が実感できるよう、これからも平岡地区の皆様とともに知恵と力を出し合ってまちづくりを進めてま



前列右から二人目（古屋さん）

本年度の「中学生の税についての作文コンクール」（国税庁主催）で、平岡中央三年、古屋杏奈さんが国税庁長官賞に選ばれました。全国規模のコンクール

で、北海道から七千六百八十六点、全国からは約四十二万点の応募があり、長官

賞は北海道からは唯一一点という優秀なできでした。「税」という名の宝物」との題で、

社会科で学習したこ

とをもとに脱税の身勝手さを訴え、みごと長官賞に輝きました。また、平岡中央からは、橋優香さん、鎌田航平君、熊木麻美さん、今西沙耶果さん、門田絵美子さん、中村彩音さん、小野由梨香さんと、いずれも三年生の八名の方々が入賞し、表彰されています。大切な税という

古屋杏奈さん（三年）国税庁長官賞に輝く 平岡中央中学校 八名入選の快挙！

中学生の税についての作文コンクール

古屋杏奈さん（三年）国税庁長官賞に輝く
平岡中央中学校 八名入選の快挙！

問題を真剣に考える若い力の台頭を心から喜び、祝福したいと思います。

平岡中央中は今年中体連での活躍もあり、さらなる発展が期待されています。

この度、このような大きな賞を受賞することができ、嬉しく、また驚きを感じています。税について無知だった私がこの作文をきっかけにいろいろな知識を得ることができました。あと五年で二十歳を迎える私たちには今のうちから、税を始め日本が今抱えている課題について学習し、考えていくたいと思います。

喜びのことは
古屋 杏奈

いりたいと考えていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

札幌市「障がい者の日」記念事業

第七回『もちつき交流会』

平岡地区で “健常者”と“身障者”的 交流深まる



主催 札幌市「障がい者の日」記念事業実行委員会
清田障がい福祉関係者等ネットワーク会議

共催 平岡地区町内会連合会
平岡地区福祉のまち推進センター
平岡地区民生委員・児童委員協議会

の日」と明記。

●一九九五年：総理府障害者対策推進本部は、二月三～九日までの一週間を「障害者週間」と決定。

昨年12月5日平岡地区会館を会場に、第七回清田区「障がい者の日」記念事業「もちつき交流会」が開催されました。その前日、気象庁は北日本一帯に低気圧情報を発表し降雪・吹雪等の警戒を呼びかけました。そして、夜半から降りだした雪は、当日の朝、南風が運ぶ湿ったまつすぐに落ちる大粒の「うどんぶり」に、路面はずぶずぶのぬかるみになりました。

しかし、清田全域から集う障害をもつ人もたない人も、お手伝いの方々も準備の時刻や開会の時刻をめざし集まりました。午前十時に開会し、餅をつき、調理をしながら交流をひろめたお昼まで累計二百十人を数え、空模様や足もとを気づかつた主催者側も、「参加数・交流の広がりなど、地域諸団体の大きなご支援をいただき、第八回へとつかり引き継ぐことのできる『もちつき交流会』になりました。本当に嬉しく思います」と佐々木紀夫会長さんは力強く締めくくりました。

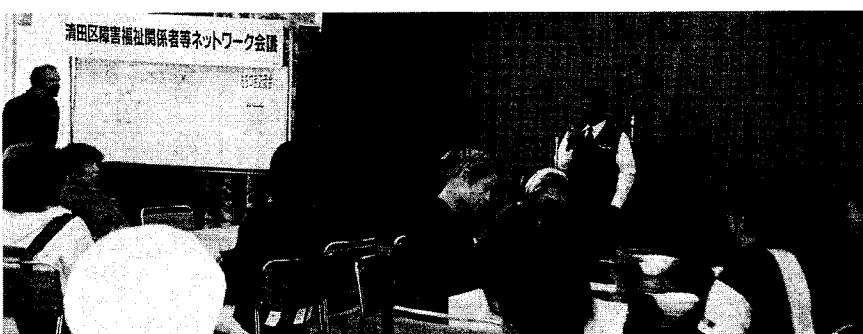
『障害者の日』

●一九七五年：国連で障害

者の権利宣言」
法に一二月九日を「障害者基本

刊
清田区障がい
福祉関係者等
ネットワーク会議

清田区内の「障害者の福祉」に関する人や団体が集まり、障がいの種別を超えた横の連携をつくり、多くの方々に「障がい」について理解を深めていただくことを目的に、『清田区障がい福祉関係者等ネットワーク会議』を設立し、活動を続けています。



挨拶するネットワークの佐々木会長

ご存知ですか?
清田の障がい者
小規模作業所



交流が広がりました

障がいをもつ人の社会復帰の方法や努力の仕方はいろいろあります。
次にあげる小規模作業所は、清田区内にあって月～金まで皆さんのが集まって作品作りに励んでいます。作品は、定期的に展示・即売会を実施しています。

ウレシバ共同作業所
清田6条3丁目14-44
☎ 886-1691

ワーキングショップノビロ
真栄3条2丁目1-20
☎ 881-3168

フレンドショップノビロ
真栄2条1丁目7-6
☎ 882-5692

フレンドショップ・シオン
里塚2条2丁目10-5
☎ 885-7769

地域共同作業所・キャンドルハウス
平岡1条1丁目5-24
☎ 882-9627

サポートハウス・みやび
平岡1条2丁目1-8
☎ 881-7270

地域生活きたのセンター・ばお
北野5条3丁目4-14
☎ 889-6560

長沼陽風学園
グループホームきたの
北野4条3丁目8-22
☎ 881-0795

小規模作業所エム
真栄1条2丁目4-1
☎ 882-5071



みんなで餅をつきました



「社協」「福町」「民生委」「町連」の女性部が大奮闘

12月8日清田区役所
1Fロビー展示・
即売会場で

この度の（七日～十日）

展示・即売会は、「NPO
さつされん」白石地区七ヶ
所の作業所からの派遣でした。

「今日は：売れゆきは？」

尋ねてみますと

「思つたほどは：ねえ」と、キャンドルハウスの玉
山さん。つづけて、

「作業所が、もつともっと
地域に開かれた場所、日常
の交流の場になれたらねえ」

「障がい者の日」の認識を
もつと広め深めなければ……
の感をつよくしました。

平岡「町連」傘下25の単位町内会は、それぞれ
がいろいろな悩みや問題を抱えつつも、それを乘
り越え地域性を生かしたユニークな行事や活動を
創っています。

今回は、平岡第一自治会の「単町」独自で行う
防災訓練を、会長の森勝利さんにお願いしました。

当自治会は、発足して二
十四年が経ち、四季の折々
に創設された多彩な行事が
今に伝えられています。
その代表的なものは、春
一番に金色の御輿を先頭に
大勢の児童が長蛇をなし町
内を巡行する子供みこし祭
りに始まり、夏八月は、近
隣四町内会の盆踊り大会な
ど三大夏祭りが盛大に行わ
れ、そして秋の頃には、「サ・
秋祭り」に次いで、秋の旅
行会で一年の千秋楽を迎
えます。

害を受けた新潟県中越地震
は三か月が過ぎ、豪雪を目
前に深刻な状況が連日のよ
うに報じられております。
参考までに、この札幌周
辺にも、かつて活動した当
別断層と石狩低地東縁断層
の活断層が知られており、
この事から殊更に不安を募
らせてはなりませんが、普
段の備え怠りなきが何より
も大切であります。

私はこの自治会では、かか
る観点から、前記サ・秋祭
りには、防災訓練を行うこ
ととし、清田消防署の方々
の指導を頂き、日常生活で
も実用度の高い、油火災の
初期消火と心肺蘇生法等の
応急救護の体験訓練に加え、
ものと思っております。

行事を楽ししながら 生活の知恵と実技を磨く

平岡第一自治会 会長 森 勝 利



訓練後の秋の味覚会

「福まち」と「町連」と「ごみ減量化事業」と



平岡まちづくりセンター

所長 谷地田 明

する期待はますます大きくなり、活動の輪はもつと広がっていくのではないでしょか。

活動の場を拓げる

「平岡町連」

その福まちとは対照的に、地域のたくさんの課題に対

して多種多様な活動を行い、成果を上げているのが町連

の活動です。そのため、町連の活動範囲はおのずと広

範囲となり、他の団体、組織との共同事業も多く見ら

れます。児童生徒事故防止協議会がそのひとつで、青

少年育成委員が先頭に立て、学校、PTAと連携し

ております。町連敬老会も

民生委員と手をつないでの事業です。大変規模の大き

い平岡防災訓練も消防団平

岡分団なくしてできない事

業です。

「ごみ減量化」と 地域支援

地域課題のうちで関心の

地域課題がますます多様になっていくことを考えれば、町連活動のこの傾向は強まっていくことが予想され、まちづくりの輪が一段と広がっていくことが期待されます。

多くの地域課題の中でも、ほとんどの人がその重要性を認識している課題のひとつがお年寄りの問題です。お年寄りがいつまでも元気で、住み慣れた地域で暮

る、平岡においても、福祉、交通安全、災害・防犯、青少年健全育成、道路整備、除雪等々の課題があります。そして、その多くの課題のうち、どれを重要と見るかは人によって異なります。年齢、性別、職業、生活環境によって、さらに学校が抱える問題、子供を持つ親の悩み、お年寄りの心配事、若者の希望。

「福まち活動」地域 だからできること

そんな地域課題の中で、ほとんどの人がその重要性を認識している課題のひとつがお年寄りの問題です。

つがお年寄りの問題です。

今後、福まちの活動に対

して、茶話会、日帰り温泉旅行、

友愛訪問、すこやかクラブ、陶芸教室。地域のお年寄り

が集まって一緒に食事をし、

旅行を楽しみ、ともに語ら

い、談笑の場を作ろうとさ

まざまな活動を行つており、

大きな成果をあげておりま

す。

障がいがあれば介護保険。

病気をすれば病院。生活費

は年金で。それはそれで大

変重要ですが、そればかり

ではなく、信頼できる家族、

友人・知人が身近にいて、

住み慣れた地域で近所が声を掛け合つて生活できるそ

んな平岡をつくつていこう

というのが福まち推進センタ

ーの活動です。

多種多様な地域課題に取

り組んでいる町連は、課題

解決のために各種団体と協

力しながら事業を進めてお

り、だからこそ、効果的な



高いもののひとつにごみ問題があります。平岡まちづくりセンターでは今年度「ごみ減量化事業」を進めております。福まちと町連の活動を参考に、複数の事業を計画しました。これまでまちづくりに参加されなかつた人も含めて地域の皆さんに興味のあるところから、思い思いのスタイルで参加され、それを通じて環境のこと、美観形成のこと、もの大切にする心などを育んでいきたいと企画しました。

現在、まちづくりセンターでは、福まちの方々の活動に役立てていただこうと、会館の一室にミーティングテーブル、電話、パソコン等を設置しようと準備を進めています。もちろん、町連をはじめ、ごみの減量化事業を含めまちづくりに参加される地域の皆様に広く利用していただけるようになります。

地域の皆様のまちづくり活動が大きくひろがっていけるように、一歩一歩ですが今まで以上に積極的に支援していきたいと思います。

第35回 サントリーDAKARAカップ争奪戦

平岡ママさんチーぐ（全国大会南北海道代表） 全国大会（仙台）で競闘！

ママさんバレー
それは、主婦業・子育て・
時には仕事そしてバレーと
の順列・組合せの中から生
まれる難苦行です。
その難しさの中で獲得し
た南北海道代表権……本
試合の結果は出ませんでし
たが、その経験を生かし札
幌の地で輝き続けてください。
ご苦労さまでした。

総勢16名 元気に仙台へ



「三股さつき」との白熱戦・実松のスパイク決まる

善戦した親善試合
本試合で涙をのむ

9月2日より5日まで、
仙台市体育館において全国
都道府県代表49チームが集
まり、サントリーダカーカ
RAカップ第35回全国ママ
さんバーボール大会に、
南北海道代表として出場い
たしました。小さな子供を
連れ、腰痛を抱え出場する
母親の看護役として参加し

試合は、親善大会とトーナメントの本試合という流

た娘さん共々、総勢16名で
2日早朝、仙台にむけ新千
歳空港を出発しました。

会場に漲る
緊張と興奮

静まり返る体育館。一瞬
場所を間違えた(?)と思つた
志が作成してくれたすばら
しい横断幕を特等席の位置
に掲げることが出来ました。
時間が経つにつれ、参加チ
ームで埋まつていく体育館。
開会式は、緊張感一杯の中
北北海道に統いて2番目に
入場行進しました。そして、
高円宮妃殿下ご臨席のもと、
参加チームによる郷土アト
ラクションも行われ、交流
を深め合いました。また、
スペシャルゲストとして、
サントリーノ佐々木・荻野
両選手が体育館に入場して
きた際には、ママさんパワー
一全開となっていました。



ママさんバレーをしてい
る者達があこがれる一生一
度の全国大会。この晴れ舞
台でプレー出来たことは、
私達のこれから的人生の誇
りとなり、自信になつてい
く事は間違いないと思いま
す。とてもすばらしい経験
を積めた5日間でした。家
族はもとより、この大会参
加において地域の皆様から



来賓を囲み元気なメンバー

れで始まりました。親善大
会は、三重県代表と島根県
代表と対戦し一勝一敗。そ
して迎えた本試合は、札幌
さつきとの戦いででした。
しかし、大会の雰囲気に飲
まれ、自分達の力を十分發
揮することも出来ないまま
2セットを先に取られてしま
まい、上に勝ちあがること
は出来ませんでした。

しかし、大会の雰囲気に飲
まれ、自分達の力を十分發
揮することも出来ないまま
2セットを先に取られてしま
まい、上に勝ちあがること
は出来ませんでした。

協議会は、12月6日平岡地
区会館において、傘下クラ
ブ12約七百四十名を代表す
る役員並びに各会長さん方
が集い、来賓を招き今後の
一層の発展を祈念いたしま
した。

写真は、高齢……ますま
す意氣軒昂な役員と来賓。

も沢山の応援を頂戴致し
ました。この場をお借りし心
よりお礼を申し上げます。

《ふれ愛梅の実広場》一

悪路にめげず

一人で暮らす高齢者激励!!

今年で8回目を迎える「ひとり暮らしの高齢者」友愛訪問、社会福祉協議会、地区民児協、青少年育成委員、福祉推進委員、いずれも女性部の方々が、前日からの仕込みついで当日の朝早くから調理の腕をふるつたお弁当と手作りのオヤツに色鮮やかなシクラメンの一鉢と心のこもった手芸品とあわせて4品……「元気にしてましたか?」のご挨拶と一緒に届けて回りました。



温かいお弁当にニッコリ



届ける方も届けられる方も、互いに温もりを感じる日のひとときでした。

「ふれ愛梅の実広場」は、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくけるまちづくりに資することを目的としています。一人暮らしの高齢者への支援活動は、この他日帰り旅行(七月)茶話会(十月)など実施しています。

平岡地区民生委員・児童委員の属する団体の名称は、平岡地区民生委員児童委員協議会(略称、平岡民児協)と申します。

平成十六年十一月三十日に三年間の任期が終り、十二月一日に一斉改選が行われました。この度の改選で、平岡地区は世帯数の増加に伴い区域を二つ増やし三名となりました。主任児童委員の定数が二十名となりました。

平岡地区は世帯数の増加に伴い区域を二つ増やし三名となりました。主任児童委員の定数が二十名となりました。主任児童委員の二名が再任され二十五名のスタッフで活動して参ります。

急速な少子高齢社会を迎えるため、担当区域内の複雑多様化してきているなかで私たちは、住み慣れた平岡をより一層安心して暮らせるぬくもりのある地域にするため、担当区域内の実情を日頃から把握し、皆さんに対しても的確な相談・援助を行えるよう努めて参ります。どうぞ私たちの活動に対しご理解とご協力をお願い申しあげます。

新規に委嘱を受けた

平岡地区民生委員



新規に委嘱を受けた25名の委員

No.	氏名	住所	電話
1	長橋 扶史子	平岡2条3丁目6番1号	881-6640
2	成田 實	平岡1条4丁目3番10号	881-0594
3	三橋 國昭	平岡2条1丁目3番2号	881-1930
4	守谷 光子	平岡3条1丁目7番6号	882-3145
5	大橋 良一	平岡1条6丁目2番13号	882-2986
6	松本 幸也	平岡2条4丁目2番5号	884-3007
7	杉岡 洋子	平岡3条3丁目22番1号	882-3781
8	佐藤 みち子	平岡4条1丁目3番20号	882-4838
9	大宮 幸夫	平岡5条1丁目3番10号	881-3406
10	大向 悅子	平岡5条3丁目2番18号	882-6514
11	渡邊 紗太郎	平岡4条6丁目9番7号	885-0056
12	松本 正	平岡5条2丁目7番15号	881-3163
13	船木 純子	平岡6条3丁目13番20号	883-7398
14	塚本 芳美	平岡5条1丁目1番27号	885-9693
15	西川 幸子	平岡6条2丁目2番1号	881-3264
16	長崎 紗子	平岡8条1丁目10番3号	886-5307
17	泉 豊吉	平岡8条1丁目7番24号	881-5395
18	吉川 敏子	平岡9条1丁目21番24号	883-0453
19	前島 敏子	平岡7条3丁目3番25号	882-6228
20	松尾 隆	平岡9条3丁目8番26号	882-6428
21	矢萩 洋一	平岡8条4丁目15番11号	884-2181
22	横山 由美子	平岡10条2丁目1番3号	891-7727
23	川原 秀明	平岡10条2丁目21番3号	895-3184
主任児童委員			
24	菊地 和枝	平岡7条3丁目3番11号	883-1986
25	彦素 幸夫	平岡1条5丁目1番17号	883-0378

趣味に生きる シリーズ②

九州の最高峰

屋久島縦走記

平岡親和会町内会 会長 土岐 政美

「山あそび」では、目的の山を選ぶところから始まり……下山した後も道具の手入れ、気持の整理、次の山行きの準備など退屈はしません。しかし、登山というと概ね苦労の伴うのも本當で、よくもまあ、あの大きな荷物を担いで……歩きます。でも山に出かけるどの人も考えます。いかにして、荷物を軽くしへたらいいかを。また、その工夫の仕方にもその人なりの個性や経験があり楽しげや面白さがあるものです。

屋久島の準備 北海道で

歩行11時間、無人山小屋一泊（前後泊旅館各一泊）、2日目はほぼ下り18km、7時間の計画です。

心と体の準備

登山そのものは、私ごときアマチュアが語る何物もないでの省略し、私の山行きの準備を、九州最高峰の屋久島縦走を例に具体的にご紹介します（高齢者登山の参考になると思います）。

屋久島縦走で最もボビュラーな淀川（ヨドゴウ）～宮之浦岳～永田岳ピストン～縄文杉～白谷雲水峡全行程約30km、初日の登り累積標高差約1200m、12km

主治医に24時間心電計、血中酸素測定計、血圧計を

一泊余分の装備で新千歳羽田～鹿児島～屋久島と乗り継ぐ。飛行機から見た

装着してもらい、リック重量12kgをしょって、コースタイムよりは早足で歩く。

主治医診断、不整脈100、心搏130以下で歩け、貴君通常97なので95位で歩け等のアドバイスを受ける。

山中は老人家庭が山に引っ越して重労働をしているようなもの、携行品は若い人がいるかに多いです。特に薬は、

・ニトロスプレー、ニトロベン、フランドルテープ、メブチエア、酸素発生器、救心、スマイルスチック、インサイドバップ、固定テープ、ゲンダシン、デルモベート、スチプロン、目薬、綿棒、カットバン、下痢止め、風邪薬、痛み止め（特に歯）

それとGPS、GPS付携帯電話、山小屋内夜間轟音対策用ヘッドホン（ボーズノイズキャンセラー）。

山登りのアドリブ

小屋で登山のメッカ白馬の方と出会う。しばし北アルプスの話が弾む。2日目朝も晴れだが天気は下り坂。

6時小屋を出発、縄文杉、大王杉、翁杉、ウイルソン株を見、峰を一つ越し白谷

まだ行かれてない方5～6月屋久島シャクナゲの季節がよいと思います。

遠くに佐多岬、枕崎が見える。ほぼ下りを三時間で今二時間半。島内の奇岩の山々、置き第二峰の永田岳往復約

朝4時。フランドルテープを胸に貼り救心飲んでタクシーで登山口へ出発。一時過ぎ最高峰宮之浦岳（1936m）、ゆるい下りを二〇分ほど歩き、リックを近くに種子島口永良部島、日泊まる新高塚小屋に到着。雨の屋久島で終日快晴。

もともと美味しい。

屋久島で有名といえばの多さと屋久杉（特に縄文杉）。でも山では巨石奇岩と南方系の草花、屋久鹿、屋久猿、飛び魚・屋久サバの刺身・焼き物・煮付け、地酒、道産子の私にはすべてが新鮮で強か酔いました。

縄文杉や、もののけ姫か朝の連ドラかで有名なウイルソン株は山道の登り4～5時間前後で往復十時間、そこまで行くのは観光客のほんの一部と地元の人たの話でした。



翁岳

地区会館に『趣』を提供

菊池 美奈子さん
(平岡7条3丁目12の2)

エレクトーンを寄贈

12月6日、話が纏まれば即刻行動に……話を聞き入れた彦素幸夫・児童委員が「町連」木下副会長宅からトラックを借用し、早速地区会館Aホールに搬入、ステージ下手に配置しました。

菊池さんは、「宙(4歳)くん、萌々(2歳)と私と3人で使っていたものです。ホールの『趣』創りに役立つものでしたら……どうぞ」



タンゴを奏でる青山さん(右)と得能さん



子どもさんも気持ちよく了承……。
お陰で、会館ホールの雰囲気づくりに期待が膨らみます。有り難うございました。



明るく元気な宙くん萌々ちゃん(左)

昭和20年代、子供達の遊び場は「あしりべつ川」であった。釣りは、沼や溜め池であつたが忍耐力を要しすぐ飽きてしまう。餌のミニズを放置したまま用水路での魚すくいに興じる。15cmもの大きなどじょうをはじめ、ザリガニや谷地ウグイの群れを追つた。大切な台所用品の一つ、片口の竹ザルを母親に無断で持ち出し、ひとすくい10~20尾と大漁の満足感であった。大漁とはいえ、遊びなので再び川に放流するのだが楽しい遊びであった。

現在の真栄一、二付近の小川に「川ガニ」が生息していた。甲羅が直径5~10cmで巣穴がたくさんあり、橋の上に腹這つて見ると音に敏感ですぐ隠れる。勿論

昭和20年代、子供達の遊び場は「あしりべつ川」であった。釣りは、沼や溜め池であつたが忍耐力を要しすぐ飽きてしまう。餌のミニズを放置したまま用水路での魚すくいに興じる。15cmもの大きなどをはじめて、ザリガニや谷地ウグイの群れを追つた。大切な台所用品の一つ、片口の竹ザルを母親に無断で持ち出し、ひとすくい10~20尾と大漁の満足感であった。大漁とはいえ、遊びなので再び川に放流するのだが楽しい遊びであった。

現在の真栄一、二付近の小川に「川ガニ」が生息していた。甲羅が直径5~10cmで巣穴がたくさんあり、橋の上に腹這つて見ると音に敏感ですぐ隠れる。勿論

すぐ挑戦。竹棒に木綿糸、餌は煮干しである。竹ザルや煮干しは生活必需品であり、いつも母から叱りを受けたが止められなかつた。

いずれの釣果も食すること希で、ザリガニは香ばしかつたのを記憶あるが、ウグイは泥臭い上に青臭さがいやで旨くはなかつた。

昭和30年代、この地も宅地造成が始まり、林は切り開かれ小川や沼が埋め立てられていつた。その影響か

は「ひぶな」だった、と信じている……?

遊びの場、生活の場から様々な生物を観察し、大自然を駆けまわり、今で言うマイナスイオンやアロマセラピー効果を充分浴びて子供達は成長していった。

川遊びの思い出

南平岡町内会 彦素 幸夫



川も木立ちも笹やぶもみんな友達だった

俳句
 (二首) 平岡在住の高校三年生
 専正池の坊 (師
 五十嵐玉堂) で30年
 ぶりに活花の勉強をして
 いる。当時は無
 かったフランジメントである。
 一本の花の色や形に心をこめ、自分を
 表現し、日々元気をもらっている。美し
 いものに触れて、自らも磨かれる思いで
 す。

花を愛でる

平岡一条二丁目 宮崎 幸子

合格を 祈る手つつむ 白い雪
 雪解けを 待つ身のつらさ 熊に問う
 遠藤智子

**「無盡藏」**

◎約一、〇〇〇年前、中国宋時代の書家「蘇軾」
 の詩から採った言葉です。

「是造物者之無尽藏也」

◎木簡調の隸書体で素朴な作品にしてみました。

書道

シェヴァービング9番館町内会
 北海道書道協会理事
 全道書道展覧会員・毎日書道展覧会長
 総務部長 及川 建
 雅号 北仙

東北の田舎では、最初に
 捣き上げた新鮮な餅を母親
 が一升舟に装う。男の子た
 ちは、雑煮の碗や汁粉の碗
 にうけて食べる。食べる真
 似だけでもいい、一つの儀
 式なのです。

一生(一升)のうちに城
 持ち(白餅)ほどの成長へ

昨12月5日、平岡地区会
 館を会場に清田区の『障が
 い者の日』記念事業実行委
 員会が、身障者と健常者の
 「餅つき交流会」を開催。
 (詳細は、本紙3ページ)

*

本紙のページには、今ま
 でになかつた「生け花」、
 地元高校生の俳句、中学生
 の活躍、現役高校教師の所
 感など多岐の内容を掲載で
 きました。

情報発信源が広がりました。
 有り難うございます。
 (渡辺記)

前号(第22号)の訂正とお詫び

本紙8月31日発行の第22
 号の2ページ上段左端写真
 「地区懇談会で挨拶する中
 野区長」様の写真掲載の予
 定のところ、取り違えて葛
 西税務部長様の写真を掲載
 してしまいました。

ここに訂正し、お二人に
 深くお詫び申しあげます。



時に、昭和の初期から、
 「白餅」を食べた少年たち
 は、城持ちはおろか日中戦
 争の最中に中国大陆で多く
 は帰らぬ人となつた。とい
 う悔しい話を読んだことが
 ある。食べる餅にも背負う
 饼(一才の誕生)にも、先
 人の想いが深い。

交流会の餅搗く音もドシ
 ン・ドシン……もつと広
 がれ、もつと広がれ、と力
 強くホールを揺るがして響
 いていた。

「障がいが、『人の個性』
 として認識されるまで頑張
 らなくちゃあ……」と清田
 区役所の障がい者作品展示
 即売所で話してくれたキヤ
 ンドル・ハウスの玉山さん
 の言葉も強い響きをもつて
 いた。

*